



欲しかった暮らしを、しよう。

各 位



2021年3月22日

株式会社フージャースホールディングス  
株式会社フージャースアベニュー  
国立大学法人筑波大学

## フージャースアベニューと筑波大学による産学連携プロジェクト

### 「住み継ぐ家」をテーマとした企画・設計

#### 建築デザイン専攻の学生アイデアを採用した3戸の住宅がつくば市吾妻地区に完成

株式会社フージャースホールディングスのグループ会社である株式会社フージャースアベニュー（本社：東京都中央区 代表取締役社長：森俊哉）と国立大学法人筑波大学（茨城県つくば市 学長：永田恭介）は、同社が茨城県つくば市にて開発している戸建住宅街「デュオアベニューつくば吾妻西街区」に建設する住宅について、筑波大学 芸術専門学群・建築デザイン演習および同大学院芸術専攻デザイン領域群・建築デザイン特別演習の一環として「住み継ぐ家」をテーマとした企画・設計コンペを行い、39名の学生・大学院生の提案のうち優秀作3案を選び、その設計意図とデザイン提案を活かした住宅3棟を設計・施工し、このたび竣工しましたのでお知らせします。

今回の取り組みは、2018年に(株)フージャースアベニューと筑波大学が、不動産業の進展及び産学連携教育プログラムによる人材育成を目的として「共同研究契約書」を締結したことを契機に、実現したプロジェクトです。

2018年6月に行われたコンペでは、39名の学生・大学院生の提案の中から、染谷美也子さん（芸術専門学群3年生、当時）設計の「ハウス・オブ・プランツ」が最優秀賞に選出されました。限られた空間のヴォリュームに工夫をして様々な庭をつくることを提案し、居間や食堂と庭の空間が一体となったアイデアが評価され、実際の住宅設計では、「中庭・ハナレのある家」として実現しています。

優秀賞に選出された安喜祐真さん（芸術専攻博士前期課程1年生、当時）設計の「土間のある家」は、玄関から台所にかけて土間空間を広く取り、諸室をつなげるという大胆なプランが評価され、「あじみちの家・キッチンを囲む家」として、そのアイデアが実際の設計に活かされています。

また、リュウ・T・ペニーさん（豪・クイーンズランド大学4年生・短期留学生、当時）が設計した「本棚のある家」は、知的な仕事に携わる住民が多いと考えられるつくば市に建つ住宅ならではのアイデアが評価され、「本棚・吹き抜けのある家」として採用されています。

なお、最優秀賞の染谷さんの案は、一般社団法人東京建築士会開催の「第18回 住宅課題賞2018」において審査員賞である「高橋賞」を獲得しています。

フージャースグループでは、今後も継続的に不動産業の進展及び不動産業に係る人材育成を行うとともに、「欲しかった暮らし」の実現に向け、挑戦を続けてまいります。

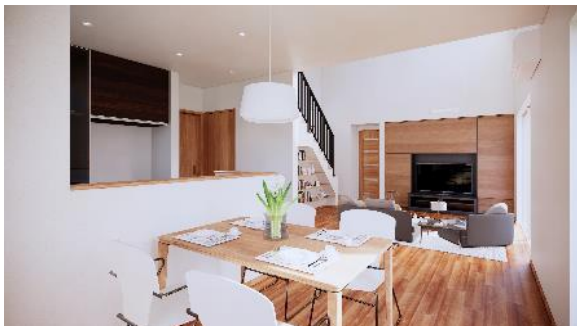
■ 「中庭・ハナレのある家」



■ 「あじみちの家・キッチンを中心家」



■ 「本棚・吹き抜けのある家」



本件に関するお問い合わせ先

◆株式会社フージャースホールディングス 経営企画室 (電話) 03-3287-0704

◆筑波大学広報室

(電話) 029-853-2040

(Mail) kohositu@un.tsukuba.ac.jp